

愛知大学入学試験 出題意図

試験日	2026年2月5日
入試種別	一般入試
科目	国語

大問〔一〕

現代文の論理的文章を扱う問題です。平成以降の日本社会における文学のテーマを扱った、文芸評論からの出題です。生存を支えていた家族等の問い直しと、90年代の文学作品で描かれた様々な生きづらさや、それを軽減するモラルや物語を追求して格闘する文学のあり方について、筆者が論じる内容を正確に理解できているかが評価ポイントとなります。また、漢字や語彙、文学史に関する基礎的知識を問う設問もあります。

大問〔二〕

現代文の論理的文章を扱う問題です。現代の日本社会をかたちづくる制度や規範について歴史的な視点をふまえながら論じた著作を取り上げ、日本的雇用慣行の特徴について欧米社会の雇用のあり方と比較しながら考察している箇所を出題しました。文章自体は平易なものですが、論理的文章の構造を読み解き、日本と欧米の社会的なしくみの違いについて正確に捉えることができるかを問いました。また、漢字や語彙、文の接続についての基礎的な問題も設けました。

大問〔三〕

古文に関する問題です。古文の語彙や文法に関する基礎的な力、および話の筋を読み取る力を問う設問としています。『大鏡』にみられる人物関係などを参考に、誰の動作、行為であるか、それはどう把握できるか、敬語の用法の理解などから、前後の文脈に矛盾しないように、正確に読み解くことができるかという点が評価の対象になります。

大問〔四〕

漢文に関する問題です。今回は宋代（南宋）の筆記からの出題です。問題は、高校で学習する漢文の基礎知識、読解力、文の構造などに対する理解がしっかり身についているかどうかを確認することを主眼において作成しました。漢文の形式と内容の両方に対する理解力を、それぞれ確認するための問題です。難易度は、高校生の理解力に配慮した構成としています。

本件に関するご質問・お問い合わせにつきましては、個別での回答はいたしかねます。